



しんぶん
こども新聞

おお の こ 大野っ子

60.12.15

だい 9 号



親子フェスティバル60が十一月十七日、有終西小学校体育館で開かれ、お父さんやお母さんと友達約六百人が参加しました。

参加者は十六チームに分かれて大なわ跳び・つな引き・リングまわしリレー・竹馬リレー・オセロゲームなどで得点を競い合いました。また、もちつき大会も行われ、昼食にはみんなでついたもちをおなかいっぱい食べました。最後に全員でフォークダンスを踊って楽しい一日を過ごしました。

たの
楽しかった

親子フェスティバル60



ぼくとわたしの

学校には体育クラブ・音楽クラブ・工作クラブなどたくさんのクラブがあります。みなさんはどんなクラブに入っていますか。今回は3つのユニークなクラブを紹介しましょう。

クラブ紹介

写真クラブ

上庄小6年 兼井 大



私たちの写真クラブは、今年2年目になる新しいクラブで、メンバーは6年生が6人、5年生が3人、4年生が9人の計18人です。

1学期は、18人を3つの班に分け、1つの班はビデオカメラでほかのクラブの活動や学校の様子をとり、後で再生してみんなで批評し合いました。ほかの2つの班は、テーマにそって写真をとり、現像後、6年生を中心に善しあしを話し合いました。

2学期は、来年2月に開かれるクラブ発表会にむけて、構図をもう一度勉強し直して、作品づくりに取り組んでいます。

お茶クラブ

有終西小6年 西沢慶子

私たちのクラブは、4・5・6年生を合わせると13人です。何もわからずに入ったクラブですが、今ではみんなはりきって先生の指導を受けています。

お茶の道具には、なつめ・茶しゃく・茶せん・茶わん・けん水などがあります。

夏の学生茶会では、はじめておはこびをしました。また、みんなきんちょうしてお茶を飲むことができました。

産業フェアでは「おまっ茶」コーナーに、みんなでさそい合って飲みに行きました。お茶の作法が少しずつわかるようになって、とても楽しいです。



イラストクラブ

下庄小6年 上田耕平



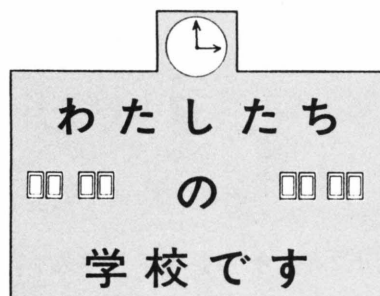
イラストクラブは、コマのマンガを書いたり、マンガ本を手本にして自分の好きなマンガを書いています。

イラストクラブは人数が多くて、だいたい30人から40人くらいいます。ほかのクラブと比べるとだんぜんこのクラブの方が多いです。人数が多いだけにたいへんにぎやかで、友達もいっぱいいて楽しいです。

先生はやさしくて、細かいところまで教えてくれます。

クラブをする日は全クラブが同じで水曜日です。だから、毎週水曜日がくるのを楽しみにしています。

おやま 小山小学校



たいりよく 体力づくり

6年 おおたに かず のり
大谷 和憲

ぼくたちの学校では、毎年いろいろな大会を開いています。リレー大会・バスケットボール大会・サッカー大会・器械運動発表会などです。4・5・6年が赤・青・黄のチームに分かれて競います。1位・2位・3位には賞状が与えられます。

そして月一回、校内マラソン大会を開いています。全校生が1キロと2キロを走り、学年ごとにタイムを競います。また2年前から一輪車に乗っています。高学年は、ほとんど全員が乗る



一輪車で体力づくり

ことができますが、低学年は、まだ少ししか乗れません。一輪車のほかに竹馬・タイヤ・輪棒などを使って体力づくりをしています。

業間活動の時は、しせつ遊具遊びやリズム運動・ボール運動をしています。

このように、全員が体力づくりにはげんでいます。

みな仲良く

6年 たま き じゅん こ
玉木 順子

小山小学校では、1年生から6年生までの全校生を17の班に分けてそうじをしています。1班はだいたい8人から9人の人数です。



そうじの時間は15分しかないので、1人ひとりが自分の仕事をいっしょうけんめいにして、足りないところはみんなで協力し合いながら、そうじを進めています。

高学年の人は、班がうまくまとまるように、細かいところまで注意しています。低学年の人も高学年に負けないように、高学年が中心となってしている仕事でも、少しずつ習ったりおぼえたりして、高学年の人においつこうとがんばっています。

このように、みんなで助け合いをして、仲良くそうじをしています。



小山小の校舎

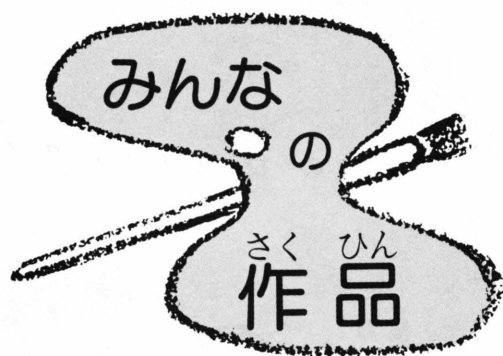
森目小一年

松田匡彦君

山の
木のはが、
あかや
さいろに
なりました。
一ねんま、田まよひろ

はっぱの上で、
雨のしずくが、
ビーだまみたいに
光っています。
雨のビーだまが、
空色の水たまりに、
きらきら
ころりと
おちました。
二年 今村のり子

ゆうしゅうみ 有終南小2年 今村のり子さん



わがやう 蕨生小3年 かえり やま やす よ 代さん

ゆめ
四年 小林洋子

乾側小四年
小林洋子さん



ひがし 有終東小5年 まえ 田 昌 宏君

理想
富田小
六年 尾崎真紀子
富田小六年

尾崎真紀子さん

あなたの作品も紹介します

次回の子ども新聞『大野っ子』は、来年3月に発行します。みなさんの作品や話題などを紹介しますので市役所企画広報課（66-1111内線 254）へお知らせください。



防火フェスティバル

第1回防火フェスティバルが11月17日、市民会館で開かれました。式典では、少年消防クラブが「私たちは火遊びしません」と防火宣言をした後、幼年消防クラブが、かわいいマーチングバンドを披露しました。

さつまいも収かく祭

小山小学校では、毎年さつまいもを作っています。今年は約600キログラムの収かくがありました。これを祝って11月11日、第4回さつまいも収かく祭が行われ、学年ごとのおみこしパレードや合奏・劇などが発表されました。



親子で楽しい工作教室

11月7日、乾側小学校で親子工作教室が開かれ、全校生とお母さんら約200人が参加しました。親子ごとに、チラシやポスターを丸めた細い棒を材料に交互に編む「あんでるせん手芸」に取り組み、2時間ほどでかごや花びんなどを作り上げました。



一本杉のカッパ

—— 奥越前の昔ばなしから ——



むかし、次郎という元気な男の子がいました。とてもいたずらっ子で、となりの猫のひげを切ったり、向かいの家の鶏を棒でなぐったりするので、手に負えない近所のきらわれ者でした。

次郎は魚取りが好きで、いつも赤根川の一本杉あたりでいたずらをしては魚取りをしていま

した。

ある日のこと、なかよしの与次郎をさそい、一本杉に魚取りに出かけました。「おい与次郎、おい与次郎ったら」と前に行く与次郎にしきりに声をかけるのに、だまってどんどん先へ行ってしまふのです。腹を立てた次郎が「こらっ、与次郎」と大声

をかけて呼び止めました。すると与次郎が「何や」と立ち止まって振り返りました。が、その顔を見て次郎は驚きました。それは今まで見たこともないカッパの怒った顔だったからです。

「アッ」と声をあげるがはやいか、あまりの恐ろしさに青くなって、つりざおなど持ち物いっさい投げ捨てて、いちもくさんに泣きながら、わが家へとんで帰りました。

家では、お母さんが台所で仕事をしていましたが「また悪いことをしてしかれたんやろ」と言う。「いやちがう、与次郎がカッパに化けたんにや」と言ったら、お母さんが「こんな顔でかな」とさっきのカッパの顔になって、次郎の方に振り向きしました。次郎は「ギアッ」と言ったきり、その場に顔色をなくして倒れてしまいました。恐ろしさのあまり、腰を抜かして気を失ったのです。

親と子のあそび

たこを揚げよう

簡単なビニールだこの作り方

- ①市販されているゴミ袋を下図のような六角形に切り取る。
- ②4ミリ角の木材をセロテープでとめる。
- ③糸目の穴は、セロテープで補強する。
- ④たこを揚げるときは角材のついているほうを内側にする。



完全な設計でできているゲイラカイトは、だれが揚げてもよく揚がります。それに比べて自分で作ったたこや和だこは揚げるのにも工夫が必要。それだけに、うまく揚がったときの喜びは格別です。

たこ揚げのコツ

- ①大切なのは糸をつける位置(糸目のつけ方)です。下図を参考に、風の強さによって工夫しよう。

糸目のつけ方

一般的なつけ方 風の強いとき 風の弱いとき

